

2025年8月29日

各位

SBIホールディングス株式会社

インドネシアにてオムニチャネル型保険販売プラットフォームを提供する  
Bang Jamin Pte. Ltd.への出資のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、当社グループが運営するSBI-NTU（エヌティーユー）・Kyobo（キョウボ） Digital Innovation Fund（所在地：シンガポール、以下「本ファンド」）を通じて、インドネシアにてオムニチャネル保険流通プラットフォームを提供するBang Jamin Pte. Ltd.（本社：シンガポール、共同創業者兼CEO：Indra Baruna、以下「Bang Jamin」）へ出資を行いましたので、お知らせいたします。

Bang Jaminは、インドネシアでデジタル保険ブローカーとして、オムニチャネル型の販売プラットフォームを提供しています。このプラットフォームでは、保険商品の流通をデジタル化することや、パートナー企業の既存サービスに保険を組み込むことで、インドネシアの保険仲介業の近代化を目指しています。金融機関やディーラー、デジタルプラットフォームなど幅広いパートナーが保険商品をよりスムーズに提供できるよう支援し、引受業務や保険金請求処理の効率化を実現しています。これによりエンドユーザーは、Bang Jaminのアプリやウェブサイト、またはパートナー企業のサービスを通じて、保険商品の比較から契約、更新をすべてオンライン上で行うことができます。また、ホワイトラベル形式を採用しているため、仲介業者は自社ブランドで保険を販売することが可能です。そして複数の保険商品を一元管理していることにより、顧客とのコミュニケーションの円滑化と業務効率の向上にも貢献しています。

インドネシアの保険市場はASEANで3番目の規模を誇りますが、保険の普及率はわずか2.7%程にとどまっており、市場規模に比べて成長の余地があるとみられています。特に同国では保険業界のデジタル化が遅れていることや、2025年1月からインドネシアにおいて自動車およびバイクの賠償保険への加入が義務化されたことから、損害保険市場全体の拡大が見込まれています。したがって今後同国内の保険市場においてBang Jamin社が担う役割は、さらに重要になると期待されています。

◆SBI-NTU-Kyobo Digital Innovation Fundについて

本ファンドは、2022年シンガポールにて組成され、東南アジアと南アジアにて、デジタル技術およびデジタルプラットフォーム関連分野のアーリーステージ企業に投資いたします。また、本ファンドは当社グループが、シンガポールの南洋理工大学の産学連携を加速する子会社であるNTUitive（本社：シンガポール、代表取締役社長：David Toh）、韓国の教保（キョウボ）生命グループ傘下の証券会社である教保証券株式会社（本社：ソウル市、共同代表取締役社長：Bong-kwon Park、

Seok-ki Lee) と共に設立いたしました。各社が培ってきた事業運営に関する知見や、地域に根ざしたエコシステムを活用し、東南アジアおよび南アジアにおける次世代のデジタル分野の先駆者や国際的な競争力を持つアーリーステージのスタートアップを支援することを目的としております。尚、本ファンドは当社の子会社であるSBI Ven Capital Pte. Ltd. (本社：シンガポール、代表：宗英一郎) が運用しております。

◆SBI グループについて

1999年創業のSBIグループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、資産運用事業、PE投資事業、暗号資産事業、次世代事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

投資事業においては、米国のRipple社やR3社など世界的に有名なDLT（分散型台帳技術）に関連した企業への投資実績を持つほか、2025年6月末時点で9,363億円の投資残高を保有し、アジアの金融およびテクノロジー業界のベンチャー企業の成長と成功を支援してきた実績があります。子会社であるSBI Ven Capitalは、シンガポール金融当局（Monetary Authority of Singapore）より認可を受けた資産管理会社として、2007年の設立以降、主に東南アジアや南アジアの企業への投資を実施し、2025年6月末現在で6.78億米ドルの資産を運用しております。

◆南洋理工大学およびNTUitiveについて

南洋理工大学は1993年創立のシンガポールの主要国立大学の一つで、2025年版QSアジア大学ランキングで第4位となっています。子会社であるNTUitiveは産学連携を加速するために設立され、自社イノベーションプログラムを通じて、先端技術に関する研究シーズを事業化することを強みとしています。

◆教保生命グループについて

教保生命グループは1958年創業の韓国有数の生命保険グループであり、同グループの中核企業である教保生命保険は、韓国最大級の保険会社の1つです。グループ傘下の教保証券は2002年より韓国取引所のKOSPI市場に上場しています。

SBIグループは2007年より教保生命保険と提携関係にあり、2025年4月には同社の株式を追加取得することを決議いたしました。これにより同社はSBIグループの持分法適用関連会社となる予定で、今後さらなる関係強化を図ります。

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126